2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［ 刈谷市立かりがね小学校 ］ 担当教諭［ 柴田幹代 ］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:［ 6 年 1～4 組 156 名］			
実施期間: 2009年 5 月 ～ 2010年 3 月			
交流: ○無・ ×有 国名［ ］学校名［ ］学年［ ］担当教諭［ ］			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて（総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう）。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	総合	国際理解教育・小学校生活の思い出	4
	図画工作	“はばたけかりがね”大きなキャンバスへ描こう	14
	道徳	“はばたけ かりがね”卒業に向けて作品鑑賞	1

■作品について教えてください。

題（テーマ）	“はばたけ かりがね” （世界へ発信する “かりがね”の平和な小学校生活 ）
絵に込めたメッセージ	小学校生活最後の学年。156名全員で一つの作品を完成させることで、学校生活の思い出となる取り組みにしたい。作品テーマである「平和」について話し合いで、「平和な学校生活」「学校生活の思い出」「学区の自然」などを描くことになった。4クラスが、日本の四季と学校生活を4枚のキャンバスに描き、虹（友好的な）の輪でその4枚をつなぎ、平和をイメージした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5月	世界の紛争地域に住む人々:アートマイルとの出会い 大きな絵を、みんなで描くことを知る	・世界の人々～いろいろな地域に住む人々～ ・日本の学校生活を見直す ・“世界に はばたく かりがね”をイメージする	総合 2
情報収集	5月～6月	アートマイル作品（実物）との出会い アートマイル制作の手順を確認する 各クラス4名の実行委員を決める	・実際のアートマイル作品を見る ・実物を見て、表現方法について知る ・制作について、見通しをもつ	図工 2
テーマ検討	6月初旬～中旬	4枚のキャンバスへ描くものを決める 日本の四季:学区の自然・学校行事 1組:冬 2組:夏 3組:春 4組:秋 各自、縮小用紙へ決まった季節のものを描き、それを基に描きたいことを話し合う	・全員で制作することを確認する ・派生図に描きたいものを書く ・各クラスで担当する季節を実行委員で決める ・ブレーストーミングで描くものを挙げる ・5～6名のグループで話し合い ・クラス全員で話し合い、画面構成を決める	総合 2 図工 2
制作	6月下旬～7月	画面構成を決め、さらにグループで話し合い、キャンバスへ描く 自分の描いた場面について発表する 友達の表現をみて、各自修正する	・実行委員会で描く題材について話し合い、大まかな画面構成を練り直す ・各担当場面（自分）を、キャンバスへ描く ・グループで修正し、全体のバランスをみる	図工 10
鑑賞	10 月	校内作品展・市内作品展・卒業式への作品展示	・実行委員会の者で、4枚の中心部分へ置く地球をイメージした青くて丸いものをつくる ・作品展示を鑑賞する	道徳 1

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	4	5・4・3・2・1	派生図やブレーンストミングをとおして、一人ひとりの意見を聞くことを大切にすることができた
情報活用能力（収集・発信）	2	5・4・3・2・1	画面構成の段階で、表現したい物事について話し合いをして、決定できた
人間関係をつくる（交流相手・学級内）	3	5・4・3・2・1	大まかな部分を担当する子どものグループを決めることで、表現方法について検討できた
協同作業をする力（役割・段取り）	1	5・4・3・2・1	子どもたちがリーダーシップをとれるように実行委員を決め、補助できる子を増やしていった
異文化の理解		5・4・3・2・1	アートマイルの趣旨を知り、テントへ実際に表現することで、紛争地の子を思いやることができた
自文化の理解・自分を見つめる		5・4・3・2・1	6年間の学校生活を振り返り、描く場面を決めることを通して、自分を見つめ自文化理解できた
表現力		5・4・3・2・1	アクリル絵の具を始めて扱うことを経験させることで、水彩表現とは異なる表現方法に触れられた
学習を追究する意欲	5	5・4・3・2・1	派生図やブレーストーミングなど参加型の学習形態をとり、全員参加の雰囲気作りに努めた
作品を鑑賞する力	5	5・4・3・2・1	卒業式でアートマイルを掲示することで、作品完成の達成感を味わわせることができた

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・卒業制作として、全員で一つの作品を仕上げることを通して、達成感を味わわせることができた ・キャンバスへ自分を描き入れる活動を通して、その場面を担当する子との間でコミュニケーションの大切さを確認できた	・全員の意見をまとめることに予定時間を越え、実行委員の話し合いで決定したことを学級で報告したり、話し合いの過程を全体にフィードバックできなかったりした ・アクリル絵の具の扱いが初めてで、細かい表現方法について学習してから実際の着色をすることができなかった

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
・校内作品展・市内作品展で好評をえた（作品展でのアンケート結果：みんなで大きな作品を仕上げたこと、迫力ある作品など）ことを、制作した子どもたちへ伝えたところ、喜びを新たにしていた	・卒業式への展示を通して“はばたけ　かりがね”（作品の題材名）を実感させることができた ・まとまった時間を確保することが難しい

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

海外との交流を通して作品を完成させることができるようにしたいです。市内転勤があり、現在のところ先の見通しがきかない状態です。昨年同様、アートマイルのメーリングリストへ加わらせていただくことで先進校の取り組みを知る機会になると思い、継続した気持ちをもてるように思っています。できる範囲でアートマイルへかかわっていきたいです。